

# ペタンク通信

北海道ペタンク・ブール連盟  
No.128 2022年6月  
発行責任者 磯野憲二  
事務局メールアドレス  
ken-9753@sea.plala.or.jp

## 第34回全道高齢者ペタンク大会 2022年度大会再開は白老町ペタンク協会

コロナ禍で2年間ペタンク大会が中止となり、3年ぶりの大会再開は、初めて主管となる白老町ペタンク協会の白老町で開催されました。道内から12チームが参加して、11月12日から神奈川県大井町で開催される第34回全国健康福祉祭大会(ねりんピック)の北海道代表が決まりました。



池田中鉢 たんぼぼむかわ ピエ・タンケ

3年ぶりの大会に参加した選手の皆さんは、再会を喜び、久しぶりの大会でいつもの感覚が戻ってきていない中、大会再開でペタンクを満喫していました。

コロナ感染対策も完璧(受付ビニールシート・消毒・検温等)で初の白老町開催に白老町長、教育長など多くの来賓も参加しました。道連盟事務局長が手配して各協会に配付された簡易テント(タープテント)も大活躍となり、このコロナ禍や高齢スタッフの大会運営に一石を投じたようです。

◎5月29日(日) 白老町民ふれあい広場

◎池田町5・森町3・安平町2・むかわ町1・白老町1 12チーム

◎成績 優勝 たんぼぼむかわ 大友三成・渡辺博司・中道玲子 むかわ町 北海道代表  
準優勝 池田中鉢 中鉢 昇・香田准子・中鉢頼子 池田町  
3位 ピエ・タンケ 堀田和信・堀田七三子・畑山洋子 池田町  
4位 安平・中村 中村幸三・餌取弘明・板倉純子 安平町

## コロナ禍のなか、感染対策をして大会再開！！

道連盟舛田事務局長から、白老町で開催した高齢者大会の現地からの大会概要報告です。

- \*3年ぶりの大会で「久しぶり」「元気だった」の会話があちらこちらで聞かれました。
- \*久しぶりの大会で、ゲーム感覚が戻っていない選手もいました。
- \*みんな嬉しそうに、コミュニケーションを大切にしながら公式戦を楽しんでいました。
- \*各協会に配付されたテント(タープ)が大活躍。
- \*看板も設置し、準備も万全、コロナ感染対策も完璧です。



大会受付感染対策万全

白老町ペタンク協会のみなさん、大会開催ありがとうございます！！  
2022年度、3年ぶりの大会再開は白老町から始まる！！

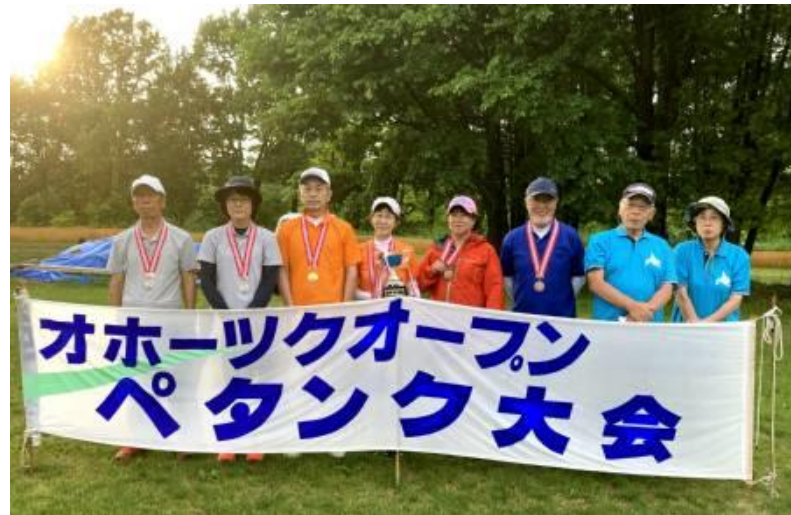
# 北海道ティール選手権・オホーツクオープンペタンク大会雷雨で中断 第28回北海道オホーツクオープンペタンク大会

道内ペタンク愛好者の待望のペタンク大会、第6回北海道ティール選手権大会、第28回北海道オホーツクオープンペタンク大会が、6月18日・19日北見市民スケートリンク多目的広場で開催されました。2大会とも雷雨に見舞われて、ティール選手権大会は中断して予選の順位で入賞者が決まり、オホーツクオープン大会は準決勝終了6分前に雷雨で中断しましたが、幸いにも再開して決勝・3位決定戦が行われました。

優勝チームは池田の中鉢夫妻で、高齢者大会、ティール選手権そしてオホーツクオープンと入賞をして、3年ぶりの快進撃が続いています。惜しくも準優勝となった札幌エトワールMの北林さんは、「準々決勝で、ノールエトワールの小成さんに勝てたことが嬉しい」と試合を振り返っていました。負けた小成さんに聞きましたが、熊谷さん、北林さんの連続ティールカポに完封負けで、悔しさを滲ませながらも相手の勝利を称えていました。決勝戦・3位決定戦は、素晴らしい試合で、講評で上杉道連盟会長は入賞者を称えました。



大友・中鉢・小成・吉川選手



札幌エトワールM 池田中鉢 フジ・イマチーム 北の国かね

◎6月19日(日) 北見市民スケートリンク多目的広場

◎安平3(3)・森2(2)・池田7(2)・美幌7(4)

札幌3(1)・士別1・むかわ2(1)・北見11(5)

36チーム( ) 決勝トーナメント進出チーム数

◎成績 優勝 池田中鉢 中鉢昇・中鉢頼子 池田町  
準優勝 札幌エトワールM 熊谷雅代・北林正行 札幌市  
3位 フジ・イマチーム 藤原一・今井悦子 安平町  
4位 北の国かね 国兼秀也・国兼玲子 北見市

第6回北海道ティール選手権大会  
◎6月18日(土) 北見市民スケートリンク多目的広場

◎大阪府熊取町1・池田4・森2・美幌4・札幌2・むかわ4・北見3  
20名

◎成績 優勝 小成裕之 美幌町  
準優勝 吉川幹子 北見市  
3位 中鉢昇 池田町  
4位 大友三成 むかわ町



開会式 上杉道連盟会長から紹介  
ジュニア・教育大パタサの初参加  
上杉道連盟会長 小成琉惺  
小成花佳・鴨田悠作・渡邊透羽



大会受付感染防止対策万全



ティール選手権大会予選



オホーツクオープン大会雷雨後再開  
決勝戦 札幌エトワールM 池田中鉢

# 大会再開へ 大会案内・要項届く

## 7月3日第37回日本ペタンク選手権大会

### 北海道予選大会 札幌市・北見市で開催

道央地区（札幌・安平・むかわ・白老・森）と道東地区（北見・美幌・池田・士別）の2地区に分けて、コロナ禍の中、7月3日各地区主管協会により予選大会が開催されます。各協会に割当られた参加枠により、札幌協会では男子予選を6月5日（日）農試公園屋外コートで実施し、協会代表を決めました。2地区の道予選会出場チームは道央地区男子6チーム、女子4チーム、道東地区男子5チーム、女子5チームのリーグ戦を行い、日本連盟から北海道代表枠により10月15・16日富山県富山市の日本ペタンク選手権大会に出場します。これまでの代表枠は、男子3・女子4チームで、従前同様の場合は、男子は各地区1位と、2地区2位同士の3位決定戦が必要となります。女子は各地区1・2位が代表となる予定です。



札幌協会男子予選大会 農試公園

## 7月10日第14回「パリ祭記念」ペタンク大会

### 札幌日仏協会主催 農試公園屋外コート

7月14日は、ペタンク発祥の地、フランスの「パリ祭」です。札幌ペタンク協会有志が7月10日に開催します。試合形式はトリプルスで予選（プル方式）決勝はトーナメントで行います。11点先取で50分の時間制限で、当日受付（チームでも個人でも可）参加費は一人500円、学生・児童は無料です。昼食各自用意、体調不良等の方は参加できません。

受付開始は8時15分、開会式9時、予選開始は9時10分を予定しています。

大会連絡(照会)先 札幌ペタンク協会 中村:090-7510-4878 牧原:090-3117-9654  
札幌日仏協会 吉田:011-223-3800

## 7月18日北の大地のペタンク大会 **36チーム限定**

### 第34回ダブルス選手権大会 美幌町で開催



第31回大会優勝 北見村上チーム

北の大地のペタンク大会は、7月18日（日）美幌町みどりの村多目的広場で開催されます。会場のコート設営が18コートと限定され、参加チーム数が36チームに限定された大会となります。第31回大会は54チームが参加できたのですが、この2年間で会場周辺が芝生化されて、コート数設営ができなくなりました。大会運営では共催の美幌和牛まつりが中止となり、炉での昼食（和牛）もなく、和牛カップをやめて、予選は1ブロック6チームのリーグ戦で行い、ブロック1位（6チーム）のみの決勝トーナメントを行います。

予選5試合、決勝3試合の8試合はこれまで通りですが、リザーブ制（控え選手）導入の3名、選手交代を可能としました。すでに31チームの受付を完了していますが、リザーブ登録は農大ペタサの1チームのみです。参加選手を増やすためにはリザーブ登録しかないので、今後検討してください。

# 7月31日第23回太平洋ペタンクむかわ大会

鶴川中央小学校グラウンドで開催

7月31日受付7時45分、開会式8時15分、競技開始は8時45分です。1試合50分です。参加申込期限は7月15日（金）で、むかわ町ペタンク協会中道会長です。詳細開催要項は、ホームページペタンク通信「大会案内」で確認してください。

<http://www17.plala.or.jp/ken-9753/newpage3html.html>



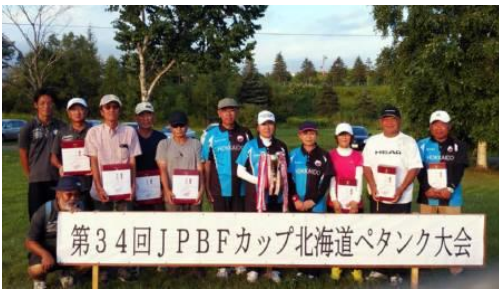
第20回大会 優勝 オホーツクミント

## JPBF 公認 C 級審判員資格検定講習会8月11日(木)札幌市開催

札幌市で開催します。開催要項は上記ホームページペタンク通信「大会案内」に掲載されていますので、受講希望者は確認して7月25日までに所定の様式にて札幌ペタンク協会中村会長宛てに申込みをお願いします。受講者定員は15名です。

公益財団法人スポーツ協会主催のJPBF 公認 C 級審判員資格検定講習会が8月11日（木）「山の日」に札幌市で開催します。

**第37回 JPBF カップ北海道ペタンク大会 8月21日 池田町 大会開催**  
**第10回北海道ベテランペタンク大会 10月2日 池田町 案内**



第37回 JPBF カップ北海道ペタンク大会の参加申込期限は8月1日です。第10回北海道ベテラン大会の参加申込期限は9月10日です。申込先は池田ペタンク協会中鉢事務局までお願いします。開催要項は、同じくホームページペタンク通信「大会案内」で確認してください。

## 農大・釧路教育大にペタンクサークル誕生！！

昨年、北海道農業大学に、そして今年、北海道教育大学釧路分校にペタンクサークルが相次いで誕生しました。種をまいたのは美幌町ペタンク協会のペタンクスポーツ少年団を卒団した寺地優樹さんと、小成花佳さんです。ひと足先に大会に初参加したのは教育大ペタサで、先日の北海道オホーツクオープン大会です。農大ペタサも7月の北の大地のペタンク大会に参加して、2大学のペタサが揃います。両ペタサの予選での対戦はなく、対戦は次の大会です！？



教育大ペタンクサークル

### 編集後記

3年ぶりの大会再開で、ペタンク通信も大会結果を掲載することができました。本当に嬉しいかぎりです。道内のペタンク愛好者との再会で、大いに元気をもらいました。新聞にも早速大会の記事が掲載され、これまでの連盟事業が早く復活することを願っています。ところで、大会再開とルール改正で慣れていない戸惑いを感じながら試合をしています。時間制導入によるメーヌの開始が、メーヌの最後に投げられたボールが停止した時です。（第33条5）試合時間終了の合図にどんな判定をするのか心配になります。負けていれば次のメーヌをしたいと思うし、勝っていたら試合終了なのですが、ボールが停止したかどうかで審判員が呼ばれても判定がつかないのです。ここで必要なのがスポーツマンシップで、ペタンカーの良心が問われるかもしれません。対戦相手のベストな状態で試合をしたい！？お互いにベストを尽くしたいと思うのですが、球数や配置で不利になると、心のどこかで相手のミスをお願いしているのかも！？ミス投球に「ありがとう」と

④

は言わないことです！！

（ペタンク通信発行責任者 磯野憲二）

北海道新聞掲載

